

## 薬師岳往復及び薬師岳⇒スゴ乗越⇒五色ヶ原⇒室堂縦走山行報告

(山 域) : 北ア薬師岳 (田中、澤田淳)・薬師岳⇒スゴ乗越⇒五色ヶ原 ⇒室堂縦走 (薄井)

(コース) : (1) 折立⇔太郎平⇔薬師峠 (BC) ⇔薬師岳及び北俣岳往復 : 田中 (記録) 澤田淳

(2) 折立⇒太郎平⇒薬師峠⇒薬師岳⇒スゴ乗越⇒五色ヶ原⇒室堂 : 薄井 (記録)

(日 時) : (1) 平成 30 年 8 月 3 日 (金) ~5 日 (日)

(2) 同上

(天 候) : 3 日快晴 4 日快晴 5 日快晴

(参加者) : 田中 (CL) 澤田淳 薄井 (薬師岳以北は薄井単独)

(山行タイム)

(1) 3 日 (金) 折立駐車場 7 : 30→太郎平 12 : 08 (大休憩) →薬師峠 (BC) 3 : 00 着

(2) 同上

(1) 4 日 (土) (BC) 4 : 40→薬師岳山荘 5 : 30→薬師岳 7 : 20 (大休憩) →往路→  
薬師岳山荘 8 : 45 (大休憩) → (BC) 10 : 15→太郎平 11 : 20→北ノ俣岳  
12 : 45→太郎平 14 : 10 (大休憩) →BC14 : 50 着

(2) 薬師峠 4 : 40→薬師岳山荘 5 : 30→薬師岳 7 : 20 (大休憩) →北薬師岳 8:35  
→スゴ乗越小屋 10:35 (大休憩) →スゴノ頭下 12:35→越中沢岳 14:25→鳶  
山 16:30→五色ヶ原山荘 17 : 15

(1) 5 日 (日) (BC) 6 : 10→太郎平 6 : 30 (大休憩) →折立駐車場 9 : 53 着

(2) 五色ヶ原キャンプ場 5:25→獅子岳 7:15→龍王岳下 9:10→室堂 10:15

(山行報告) (1) 前夜の 21 : 00 に市原 (田中自宅) を出発して、千葉で澤田・薄井と順番に自宅前で  
拾い一路、松本~安房トンネル~岐阜県神岡から有峰林道 (有峰湖) 東谷線経由で、  
折立に入る。

- ・有峰林道は有料道路で 6:00~20:00 が通行時間帯でそれ以外の時間はゲートが締まり  
出入りが出来なくなるので要注意である。(通行料金行き帰り含め 1900 円)

- ・折立には 7 : 00 前頃に着いたが、すでに正規駐車場も臨時駐車場も金曜でも満杯状  
態であり、かろうじて片隅を見つけ何とか停めることが出来た。

- ・有峰林道はゲート付近と途中で 2 か所ほどトイレが設置されている。

3 日 (金) 折立にて身支度とトイレを済まして早々と出発する。

- ・トイレ 2 か所ありは登山口には水も補給でき、飲み物自動販売機あり、売店等は閉  
まっている。

- ・登山計画書届け出は上の太郎平小屋に出すように看板がある。

途中は快晴で風が無く、樹林帯歩きが三角点付近まで続き蒸し暑い中の歩行となった。  
三角点付近からは尾根上歩きで見通しが良く、直射日光に焼かれるが、頭上に薬師岳  
山荘を望めるため気分は良くなってくる。

歩くこと 4 時間ほどで前方に太郎平小屋を確認し、木道を進めば間もなく小屋に着く。

電波の通じる小屋前にて、メールの確認・登山届の提出 (今回はメーリングでも富山県  
警に送付済みであるが) 薄井さんも含め現場でも提出する。

・特に薄井さんの単独行には諸注意が、伝えられ素直に指示にそった。

太郎平小屋前でくつろいだ後に 20 分ほど先にある薬師峠キャンプ場に前進して、テントを設営した。(一人 1 泊 1000 円)

・午後になると太郎平小屋から管理建屋に一人来てキャンプ受付とビール・飲み物を僅かであるが、持参され販売もあるが、すぐに売り切れる。

・水場は近く、ホースから十分に出ている。またトイレは綺麗である。

・キャンプ場は木陰が少なく炎天下では暑すぎる。

とは言うものの澤田さん手料理で乾杯して山のキャンプを楽しみ、夜は星が瞬く夜空を堪能できた。



4 日 (土) 本日は薄井さんが長距離縦走に単独で行くために、5 時前にキャンプ地を出発し、わずかであるが支援をするため早出とした。

朝の涼しい内に樹林帯を抜け稜線上に達して沢山咲いている花々に迎えられ、3000m 近い稜線で槍や穂高を含めた山並みの北アを堪能しながら薬師岳山荘に到着した。

・山荘では水不足で登山者には薬師峠で水補給を必ずしてから上がるように指導看板が薬師峠に取り付けてあった。

・小屋に居合わせていた登山者はヘリ荷上げ中でホコリがひどく暫らくは足止めをされていた。

山荘からは頂上までは 1 時間程度でたどり着く。

ここで縦走に向かう薄井さんを見送り、我々は時間がたつぷりのため、山行管理者に



メールを入れ、オプションで反対側の北ノ俣岳方面に写真撮影の散策を連絡して、往路を引き返し、途中の山荘でコーヒータイムを挟み散歩気分でゆるりゆるりと下りた。

BCからはそのまま太郎平に向かい小屋で休憩の後に北ノ俣岳方面散策を行う。

意外と頂上までは遠く、山頂台地（稜線）までで到着として引き返すことにする。

お陰で良い写真が撮れました。



【初めて見た。ウサギギクとニッコウキスゲ・秋が匂うリンドウ他たくさん咲いていた】

太郎小屋で太郎ラーメンを食べようと下山するが2時で終了して逃してしまう。

諦めの生ビールで乾杯して今回の登る目的を締めくくった。

5日（日）夜の輝く星の下で快適に寝ることが出来て、気持ちよく目覚める。

早々と昨日残りのごはんと具沢山みそ汁のお粥で朝食を済ませて一昨日の登路を下山して、室堂へ抜けた薄井さんと大町温泉で合流し入浴の後に帰途についた。

(2) 薬師岳山頂で田中さんに持ち上げてもらった水を受け取り、まずは北薬師岳へ向かった。

一人先を行く登山者がいたが、今日はスゴ乗越小屋までの予定とのこと。所要時間を考えても、この時間から五色ヶ原まで行く人にはもう会わないかもしれない。

テン泊の荷物だが、最低でもコースタイムくらいでは歩かないと到着までに暗くなってしまう…と思っていたのに、北薬師岳までの道のりでいきなりタイムオーバーしてしまった。まあ歩ける速さでしか歩けないし、正面に剣と立山、振り向けば槍ヶ岳と、素晴らしい眺めだからのんびり歩きたい。それにしてもすれ違う「単独」「テント」「女子」の多さはいったい？ここはテント縦走の入門コースなのか。

暑さと空腹でぐったりしてスゴ乗越小屋に到着。行動食を飲み物で流し込んだ。ここから五色ヶ原へはスゴ乗越の頭、越中沢岳、鳶山と三つの顕著なピークが続き、それぞれ登りに1時間以上かかる。スゴ乗越小屋にそのまま停滞したい欲望にかられたが、明日中に帰れなくなってしまうので仕方なく腰を上げた。

小屋からさらに下り、スゴ乗越の頭への登りに取りつく。すれ違った団体客に「きつそうねー」と心配されるほど顔に出ているらしいが、急登のうえ暑い時間帯で、全行程のうちここが一番辛かった。ようやく登りつめるといったん下って越中沢岳へ向かう。稜線の風が涼しく、スゴ乗越よりは楽に登れた。頂上では2組3人の登山者が休憩中。同方向へ

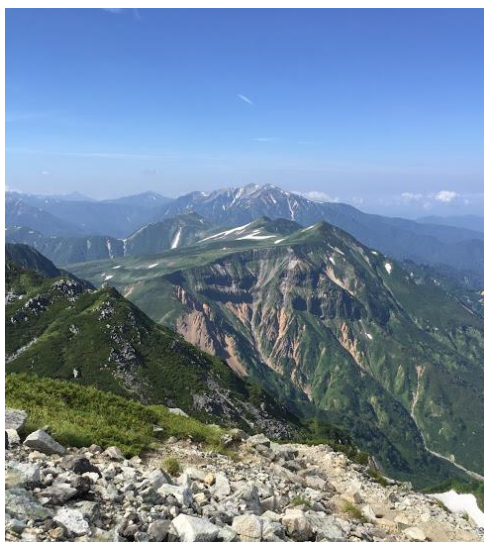


向かうパーティに初めて追いついたが、このうちの1組は、初日に折立からのルートで会ったチーバくんのリフレクターをザックにつけた2人組だった。

越中沢岳から広い尾根をゆるゆると下り、最後の鳶山への登りにかかる。到着したピークから五色ヶ原山荘の赤い屋根が見下ろせた。最後尾のつもりだったが、後から単独軽装の男性が登場し、

今日は黒部五郎から来ました、昨日裏銀座（高瀬ダム？）から入りましたと平然と話して去っていく。

木道をとぼとぼ歩いて小屋に到着したのは5時を回っていたのに、続々と登山客がやっ



てくる。予約の団体が到着し、スタッフも平然と受付をしている。遅くてすみませんなどと恐縮する必要はなかったようだ。

10分ほど離れたキャンプ場に向かい、急いでテントを張って夕食の支度。素晴らしく景色がよいのに、のんびりする時間がなかったのは残念だった。しかし寝るときにはまだなく、朝起きたらすでになく、夜中に起きたときだけ我がテントの前に出現していたツェルトの持ち主は、いったいどんな歩き方をしているのだ？

初日に太郎平で聞いたとおり、最終日の朝は曇

りになった。ガスの中を五色ヶ原からザラ峠へ下り、獅子岳へ登り返して鬼岳、龍王岳、室堂に続く景色は思わず声を上げてしまうほど美しかった。龍王岳の雪渓は小さく、問題なく通過できた。最後の一登りで室堂を囲む賑やかな稜線に到着。振り返ると歩いてきた山並みが見渡せる。浄土山経由で室堂へ向かうが、ゴーロの続く意外に山らしい道で最後に足にこたえた。

室堂のみくりが池温泉に入浴したいと思っていたが、観光客で大混雑の中、足を延ばすのが面倒になり、そのまま室堂ターミナルに吸い込まれた。11時の臨時便のトロリーバスに乗ると、スムーズな接続で扇沢へ。扇沢からも10分ほどの待ち合わせで12時半発の信濃大町行きのバスに乗れた(2台運行)。大町温泉郷で途中下車して薬師の湯で盛大に汗を流し、再度合流した田中さんたちとともに帰途に就いた。